

イベント告知

第7回 上野かんじと語る「安芸区の未来サロン」

参加無料

予約不要

皆さんぜひご参加ください。
上野と一緒に
安芸区の未来を
語り合しましょう！

日時 2025年12月6日(土) 10:30~11:30

場所 上野かんじ事務所 (安芸区中野3丁目2-16)

お気軽にご参加下さい！



かんGメール

～上野を身近に感じていただくお便りのなコーナー～

湯崎県政を振り返って

4期16年で一区切りとし、次期知事選不出馬を表明された湯崎知事の英断を評価したいと思います。多選により意見が言えないような硬直化した組織になってはいけませんし、予算編成においても通年通りの政策が続いてしまっは、今の広島県が抱える問題に対応することはできません。

湯崎県政の特色は、経済産業省出身ならびに自身が起業家だったこともあり、商工労働政策が強みであったと思います。

・ユニコーン企業を広島から10社作るユニコーン10プロジェクト

・「おいしい広島県！」&「おいしい広島県！」などの大々的な観光プロモーション など

実際、2011年の一人当たりの県民所得は、約289万円でしたが、2022年には約327万円と13.3%増え、県内総生産も名目で1割増えました。

また、先の8月6日の式典で話題となった核廃絶へ向けた平和活動にも力を入れられていたように感じます。

ただ、若者・子育て政策については、知事自身が育休をとられたものの、子どもへの医療費助成などは他県と比べて遅れていますし、若者の人口流出には歯止めがかかっておりません。

また、広島市を中心とした都市部に対して、中山間地域や離島の支援に差があり、地域間のバランスの取れた発展が課題として残りました。

このようなことから、喫緊の課題である人口流出と子育て対策、物価高に対応した雇用・産業政策に対しては、新たな知事とともに解決へ導いていけるよう、執行部と議会の二元代表制の下で尽力してまいりたいと思います。



上野かんじ PROFILE

1982年 広島生まれ、一児の父
なぎさ中・高、NZロングバーン・アドベンティスト・カレッジ(高校)、明治大学、英エディンバラ大大学院、パオニア(株)海外営業部、JICA 青年海外協力隊、復興庁(気仙沼市)、生活相談員(介護)を経て、2023年広島県議会議員選挙に初当選。

資格
浄土真宗本願寺派 萬福寺 副住職
英語 (TOEIC 940点)
全国通訳案内士
社会福祉主事任用資格

趣味
ドラム、サウナ
温泉めぐり

上の上へ! 安芸クオリティ!!
変わるけん! 広島県!!

お困りごとなどがあれば、ご遠慮なくご相談ください。

TEL 082-847-4150

【事務所開設日】 毎週 月曜・火曜・木曜 10時頃～14時頃
* 上記時間以外で御用の方はお電話にてご一報ください。



広島県議会議員(安芸区)

2025年 10月号

上野かんじ

県議会レポート Vol.11

発行

〒739-0321 広島市安芸区中野三丁目2番16号 TEL 082-847-4150 FAX 082-847-4151

E-mail ueno.kanji.politics@gmail.com

URL https://www.uenokanji.com/



9月議会のご報告

今年は酷暑が続きましたが、私は暑さ対策(麦わら帽子&ネッククーラー)を充実させてこの夏の街頭活動とポスティングを終えることができました。普段、車で通るとどうしても見落としてしまう部分があり、自分の足で地域を歩くことで、感じる、分かってくることがあります。政治家としての感性は歩かないと磨かれませんか。“暑さにも負けず、寒さにも負けず”引き続き安芸区の声を県政へと届けてまいります。

さて、9月12日から9月30日まで9月定例会が開催されましたので、議会と地元活動をお伝えします。

●一般会計

令和7年度 9月補正予算

76億9,357万円余 (累計予算 約1兆1,000億円)

主な施策

米国関税措置・物価高対策

7.6億円余

■海外への販路拡大ならびに生産性向上に資する設備投資への支援: 4億円

■中小企業等への金融支援 → 警察・商工労働委員会で質問・要望してきた関税対応の支援が8月1日に新設されました。

■県内酒蔵への支援: 3.6億円余 → 主食米の高騰とともに酒米も価格が上がっており、県産酒米購入費用と海外輸出を支援。

「新病院事業の基本計画」の見直し

- 建設費の高騰を受けて病床数に変更となります。1,000床から860床への実質の縮小です。建設費が約1,400億円、運営後には年8.5億円の県税が投下されることから、赤字体質とならない経営、県民への確実な救急医療の提供と不足する医師確保の両立が求められます。

病床区分別病床数

病床区分	当初計画	変更後
一般病床	950床	813床~954床
重症系病床	(130床)	(99床~117床)
緩和ケア病床 ^{※1}	—	(20床)
精神病床(児童・思春期病床を含む)	50床	38床
感染症病床 ^{※2}	0床	8床
総病床数	1,000床	859床~1,000床

※1 地域における需要や人材育成の観点等を踏まえ新たに緩和ケア病床を設置

※2 感染症対応の強化や人材育成の観点等を踏まえ第2種感染症病床を設置



JR広島駅からの全景イメージ

「広島県手話言語条例」及び「広島県障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例」が成立

その他については県のHPをご覧ください。

委員会質疑

常任委員会

文教委員会

9月「デジタル導入における児童生徒の健康管理について」

要望

次期教育に関する大綱の特に注力する分野の中の3番目に「リアルな体験の充実とデジタルの効果的な活用」と記載があり、“ICTを学校教育の基盤的なツールとして効果的に活用し、学びの充実を図る必要がある。”と書かれています。昨日には、中央教育審議会にてデジタル教科書の導入というニュースもあり、QRコードのリンク先コンテンツも検定対象となる予定です。一人一台端末が普及し、デジタル機器やICTの更なる効果的な活用については、先にデジタル導入を進めた海外の教育現場にて“脱デジタル化”が進んでいる状況を踏まえると、デジタル化に伴う児童生徒に対するメリット・デメリットを短期的視点ではなく、長期的な視点からしっかりと精査しなければならないと考えています。



今月22日には、愛知県豊明市で1日2時間と時間を明示したスマホ条例が成立しました。海外では、国レベルでSNSの規制なども出てきています。

児童生徒の教育にデジタル導入を進めていくことのデメリットにもしっかりと焦点を当てていただき、本日質問項目には挙げませんでしたが、集中力や読み書き能力など学習能力の低下の要因についてもしっかりと検証していただき、デジタル導入すべき部分とそうでない部分の区別を行っていただくよう要望します。

特別委員会

若者減少・少子化対策特別委員会

9月「魅力ある県内大学づくりについて」

要望

若者転出の大きな要因として、就職がありますが、大学進学も大きなウエートを占めています。県の若者社会動態に関する意識調査では、県内の大学に学びたい学部・学科があるかどうかということが進学時の転出入に大きな影響を与えているということが分かりました。

大学が生き残れるかどうかという時代が到来すると言われていますが、私の地元である安芸区では、既に大学が閉校になりました。実際、地元を歩いてみますと、若者が駅を利用なくなり、人流の変化があったりして、地域としても寂しくなりました。また、県内でも今年、経営の母体が替わる大学もあります。大学がなくなれば、さらに広島県から若者が流出するということが考えられます。ふだん県内大学同士は競争しているとは思いますが、こういった時代ですので、県内大学間で連携をして、オール広島でこの広島県の大学をどうしていくかということを考えていかなければならないと私は考えております。

外的要因として、昨今、物価高で首都圏の家賃も上がっておりまして、なかなか県外に行くハードルも高くなっているという経済事情もあります。これは逆に、ある意味チャンスと捉えて、県内でも様々な分野が学べる環境を整え、県内大学の学部学科を再編し、若者が学びたい、広島県の大学に行きたいと思えるような学部学科を整備していただくよう要望します。

※今回は、主だった委員会での発言をご紹介しました。基本的には、毎委員会発言をして県民の皆様の声を届ける姿勢で挑んでいます！

補正予算編成に向けた会派要望

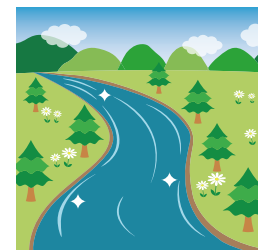
年に2回（9月・12月）、補正予算・当初予算編成に向けて知事へ要望を行っています。
9月は補正予算について、計32項目を要望しました。（以下、安芸区に係る主なもの抜粋）

- 市街地を東西に通過する車両を減らす（渋滞緩和）のために、東広島廿日市道路及び福山道路の早期全面開通に取り組むこと。
- 広島市東部地区連続立体交差事業については、工事に伴う交通渋滞や地域住民が受けている影響の緩和を図ること。
- 急傾斜地崩壊対策事業において、国に対して採択基準の緩和を求めるとともに、県としても安全・安心な環境整備を進めること。
- 物価高や賃上げについては、県内中小企業の現状や課題・ニーズをより詳細に把握し、実態や課題に即した支援策を講じること。
- 昨今の「コメ不足」を踏まえた米（食料）の安定供給に向けた生産量の拡大に向け、数値目標を定めた施策を盛り込むこと。
- 不正や不祥事が多発している学校教育の信頼回復に努めること。



地元活動（主なもの抜粋）

瀬野川の樹木伐採



毎年草木が生い茂る夏以降、国道2号線沿いの草刈りと樹木の伐採の要望を聞いております。できる限り迅速に対応できるよう努めてまいります。（河川内の堆積土砂については現在対応中）



護岸工事とともに堆積土砂を撤去（畑賀川）



河川内の土砂が溜まると豪雨時に河川の氾濫に繋がります。日々、安芸区内の河川の状況をチェックしてまいります。



横断歩道の塗り直し（神崎交差点）

通学路のため毎朝児童が横断します。車の往来も多いことから、横断歩道のカラー化も検討しましたが難しかったため、県警に塗り直しをお願いしました。



*お困りごとがあればいつでも事務所へご連絡ください。これは県の事業ではないかと思われることでも、どんな些細な事でも結構です。皆様からご意見をいただき、行政へ届けことが議員の仕事です。ご連絡お待ちしております。